RECYCLE RONDO

集めて使うリサイクル

発行：集めて使うリサイクル協会
〒542-0081
大阪市中央区南船場1-12-3
船場グランドビル9階
TEL .06-6271-8665
FAX .06-6271-8666
E-mail：info@r-kyokai.org
URL http://www.r-kyokai.org/

エコ酒屋登録店 只今478店舗

特定非営利活動法人／集めて使うリサイクル協会

# 協会報 Vol.40

2013年
12月20日発行

## 【今年も年末恒例「エコプロダクツ2013」に出展】

2013年12月12日(木)～14日(土)
東京ビッグサイト

集めて使うリサイクル協会では、2002年から毎年年末にはエコプロダクツに出展、今年で12回を数えることになりました。2008年からは印刷工業会との共同出展ブースとして、酒パックリサイクル促進協議会やLL紙パックリサイクル推進研究会の活動内容など、酒パック・アルミ付紙パックのリサイクルを訴求する唯一のブースとして情報を発信、認知を広げています。

今年も昨年同様、酒パック再生紙でブースを構成しました。素材は大和板紙の「ミルダン」、ブース構造物やテーブル、展示台などは「ミルダン」を使用した丸一興業「bolda」の製品と、全てを協会会員企業の手により、3年続けて特徴的な黒のブースに仕上がりました。

来場者は3日間で、169、076人(主催者発表)。小学校の団体を含め、協会ブースで対応した来場者は首都圏のみならず、全国各地におよび国内最大級の環境展にふさわしく広範な人々を集めています。

今年配布の貯金箱

エコプロダクツ2013
シンボルキャラクター
「エコぴょん」

また毎年欠かさず来場しているという市民も多く、今回も毎年各社の酒パック貯金箱を一つずつ増やしていってるという女性が現れたり、ここなら出せるかと思ってと切り開いたアルミ付紙パックを持ってこられた女性もいました。

エコプロダクツ展には、私ども集めて使うリサイクル協会の会員企業の出展も見られます。広島の千羽鶴ほか様々な古紙をパルプ化している徳島の日誠産業ブースでは、エコプロ会場の紙コップも自社でリサイクルすることなどを訴求。また大阪の山陽製紙では、企業のオフィス古紙を回収、その企業で使用できる紙にリサイクルする循環システムの提案ブースを出展しました。そのほか私どもの会員企業では、ほぼ出展がレギュラー化している凸版印刷・大日本印刷・日本製紙・全国牛乳容器環境協議会などがそれぞれ環境への取り組みブースを出展しました。

山陽製紙ブース

日誠産業ブース

# ●●● 資源リサイクルと福祉作業所活性化事業 ●●●

どなたでもご一緒できます

## 【リサイクルロンド事業】

資源リサイクルと福祉作業所の仕事づくりを目的に、2000年に「リサイクルロンドぎふ」、2002年に「リサイクルロンドながの」という福祉作業所のネットワークを立ち上げ、製紙会社とつなぐことにより牛乳パックやアルミ付紙パックを回収、それらを原料にしたトイレットペーパーの販売というリサイクルシステムが10年以上それぞれの地域で機能してきました。

様々な変遷がありながらも、活動継続する中で安定した数値があげられており、また新たな拡大の可能性も見えてきている「ぎふ」と「ながの」の現状を報告します。

●ここ4年間の回収実績

| リサイクルロンド | ぎ ふ | ながの |
|---|---|---|
| 回収団体数 | 16団体 | 7団体 |
| 2012年 | 29,610kg | 96,447kg |
| 2011年 | 28,710kg | 112,303kg |
| 2010年 | 51,640kg | 104,999kg |
| 2009年 | 34,255kg | 94,680kg |

### リサイクルロンド ぎふ

今年NPO法人として新体制でスタートしたリサイクルロンドぎふでは、以前から一定の協力関係を築いていたコープぎふから、全面的な支援をうけ各店舗に集まる飲料パックの全量の回収を担うこととなり、今年度の回収量は大幅に増大する予定です。またストックヤードおよび作業スペースとして旧コープぎふの北支所が使用できることとなり、障害者作業所だけではなく、ニート・ひきこもりの自立支援組織なども加わった幅広いネットワークの拠点として、紙漉き等の作業や様々な商品の販売を通じて積極的な社会参加が期待できます。

コープぎふ長良店

旧コープぎふ北支所

### リサイクルロンド ながの

リサイクルロンドながのの事務局でもある「長野県セルプセンター協議会」では、今年4月に施行された障害者優先調達推進法を受け、10月に県下10か所で県職員とともに説明会を開催。トイレットペーパーなどの購入を呼びかけた結果、11月から新たな購入申し込みがあるなど、この法律が商品販売の追い風になっているとのことで、今後の販売数の拡大に少なからず貢献してくれそうです。

特にトイレットペーパーなどの公共機関でも必要なものため、何を購入したらいいか思いつかなかったというところにもすんなり受け入れられる商材と言えそうです。

●ここ4年間の販売実績　単位：ケース

トイレットペーパー
ぎふ－1ケース 860個入り
ながの－1ケース 480個入り

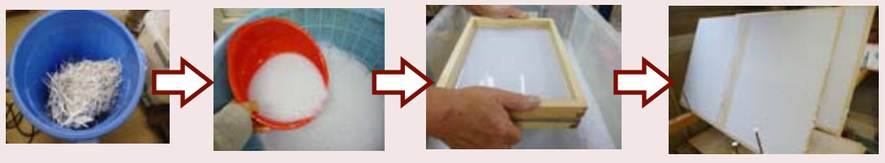
| リサイクルロンド | 商品 | ぎ ふ | ながの |
|---|---|---|---|
| 販売団体数 | | 10団体 | 47団体 |
| 2012年 | トイレットペーパー | 408 | 1268 |
| | ティッシュペーパー | 95 | 253 |
| 2011年 | トイレットペーパー | 336 | 1074 |
| | ティッシュペーパー | 56 | 278 |
| 2010年 | トイレットペーパー | 386 | 1272 |
| | ティッシュペーパー | 66 | 253 |
| 2009年 | トイレットペーパー | 369 | 1131 |
| | ティッシュペーパー | 40 | 252 |

**障害者優先調達推進法**

障害者就労施設で就労する障害者や在宅で就労する障害者の経済面の自立を進めるため、国や地方公共団体、独立行政法人などの公機関が、物品やサービスを調達する際、障害者就労施設等から優先的・積極的に購入することを推進するために必要な措置を講じることを定めたもの。

### こんなことも

先日、大量に発生するシュレッダー古紙を、再生品にリサイクル出来ないかという相談が青森県米空軍三沢基地に関わる方から寄せられました。地元の福祉施設で手漉き商品の原料として活用できれば、障害者の仕事づくりになるし、基地の社会貢献活動として地元に還元できるのではと考え、とりあえずシュレッダー古紙を送ってもらい大阪の「紙好き交流センター」でテスト漉きをしてもらいました。ポリやラミネート屑なども混じったシュレッダー古紙だったようで、ごみとの分離に手間がかかったようですが仕上がりは上々。先方担当者も驚く美しい手漉き紙に変貌しました。今後、どのような形で展開できるかは不明ですが、各地で様々な循環システムづくりをコーディネートしていきたいと考えています。



# 拡がるアルミ付紙パック回収拠点

集めて使うリサイクル協会では、ALMpri.(アルミプロジェクト)のスタート時から、アルミ付紙パックの回収拠点として街のお酒屋さんの協力を得て、全国に「エコ酒屋」を作ってきました。現在、1道1都2府32県に10の小売酒販組合と478店のエコ酒屋が全国で活動しています。

また回収パックのリサイクルには、障害者福祉作業所が様々な形でかかわっています。各施設で取り組んでいる手漉きはがきや便せん、名刺、カレンダーなどの原料として、以前から酒パックを使用しているところが少なくなかったこともあり、施設周辺のスーパーに酒パックの回収を呼びかけ、回収BOXを置いてもらうなど地元量販店と福祉作業所の協力によって成果を上げているところも出てきています。

さらには、事業者の回収への取り組みが進む中で徐々にアルミ付紙パックもリサイクルできるということが認知されてくるようになってきました。

## 【量販店での回収も始まっています】

今年11月から、コープこうべでもアルミ付紙パックの回収が、店頭、宅配、ネット販売すべてでスタートしました。

全国的にも生協をはじめ、各地のスーパー等約40社以上の量販店で全店あるいは1部店舗による酒パックやアルミ付紙パックの回収が始まってきていることは喜ばしいことです。

ただ、まだまだ多くの自治体ではアルミ付紙パックは燃えるごみとして廃棄されています。

良質のパルプを資源として生かしていくために、これからも積極的に回収拠点を拡大、循環のシステムを構築していきたいと思います。

コープこうべホームページより

店内POP

### ◆エコ酒屋用

たて40：よこ40：高さ106cm

### 酒パックの再生紙で作った回収ボックス

集めて使うリサイクル協会では、酒、アルミ付紙パックの専用回収ボックスを、回収にご協力いただける酒販店、スーパー、自治体等に無償で設置していただいています。
ご希望のかたはお申し出ください。

### ◆量販店店頭・回収ステーション用

たて46：よこ60.5：高さ67.6cm



# 酒パック再生紙から生まれた「日本酒で乾杯」カートンで「酒パックのリサイクル」を推進します

## 【日本酒で乾杯条例】

昨年12月に京都市議会で、「日本酒で乾杯」条例が可決、今年1月に施行されました。

その後全国に「乾杯条例」施行の動きが拡がり、佐賀県鹿島市、兵庫県加東市、福島県南会津町、広島県東広島市等々「乾杯条例」が成立している自治体は、現在までに24自治体にのぼると言われています。

## 【事務局の取り組み】

酒パックリサイクル促進協議会では、日本酒造組合中央会内の「日本酒で乾杯推進会議」のご協力を得、日本酒の需要振興による地域活性化と同時に酒パック再生品の拡大と普及を目指し、酒パック再生紙で「日本酒で乾杯」1.8ℓカートンを制作しました。

酒パックリサイクル促進協議会では、日本酒造組合を中心にサンプルを送付、各店舗の1.8ℓ瓶の持ち帰り用やディスプレイとして、継続的に利用してもらえるよう働きかけを行っています。

酒パックを原料に作ったこの「日本酒で乾杯」カートンは、酒販店からも「丈夫でしっかりしているところが良い」とか「2本入りのものも欲しい」とか好感触を得ています。こういう取り組みを通して、酒パック再生品の認知を少しでも広げていければと考えます。

## 【再生品の活用が進んでいます】

灘伏見の酒造メーカーを中心に、酒パックリサイクル促進協議会の会員各社では、積極的に酒パック再生品を使用する主体的な活動が活発になってきています。灘の酒造各社が使用する配送用天パットを酒パック再生紙に変更して、継続使用していただいているのをはじめとして、720ml瓶用化粧箱やギフト用3本箱、手提げ袋、イベントなどでの配布用ノベルティとして貯金箱やジグソーパズルなど今では50品目を超える再生品が誕生しています。今後も循環の輪を回していくためにも、様々な再生品の活用を積極的に推進して行きます。